

平成29年1月13日

各報道機関 御中

宮崎大学企画総務部 広報・渉外課

第5回『マッチングのためのラウンドテーブルin宮崎』の開催について

産学・地域連携センターでは、今年度より研究シーズと企業ニーズをマッチングさせる「出会いの場」として、「双方向性」「少人数」を重視し、同じテーブルを囲んで研究者と参加者がシーズとニーズを具体的に掘り下げることがを目的とした、『マッチングのためのラウンドテーブル in 宮崎』を継続開催しています。

第5回目は、産学・地域連携センター地域連携部門 講師の大元 鈴子（おおもと れいこ）先生です。大元先生は、昨年7月に着任され、水産物の国際認証のプロフェッショナルとして、地域資源の活用に関する大学と地域・産業界との連携事業を多数手がけておられます。

今回は、水産資源を持続可能にするための国際認証制度について、これまでの制度活用推進の立場と、研究者としての立場から話題を提供し、オリンピックに向けて必要とされる認証とはなにか、などについて少人数で密度の濃い意見交換をしたいと考えております。

なお、今回より宮崎市中心エリア若草通りアーケード内に開設予定としている「宮崎大学まちなかキャンパス」を会場といたします。まちなかキャンパスのお披露目を含め、認証制度活用等に関心がある企業様をはじめとした県民の皆様へ周知していただくとともに、取材してくださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

日 時：平成29年1月31日（火）午後4時30分から午後6時30分まで

場 所：宮崎大学まちなかキャンパス

（宮崎市橘通3丁目4番36号 村武ビル1階 若草通りアーケード内）

内 容：1 研究の紹介：宮崎大学産学・地域連携センター地域連携部門 講師
大元 鈴子氏
2 参加者との質疑・意見交換

※ 詳細は別添チラシをご覧ください。

マッチングのための ラウンドテーブル

マッチングのためのラウンドテーブルin宮崎

大学の知

持続可能な水産物のための国際認証
魚の未来を選ぶのは？世界の水産資源を守るには？
「お魚をずつと食べ続ける社会のしくみ」



大元 鈴子氏

宮崎大学産学・地域連携センター
地域連携部門 講師

水産業界で活用が進む「国際資源管理認証制度」をテーマに、水産物の認証制度について、制度を生かす立場と研究の両面からお話いただけます。オリンピックに向けて認証制度に関心が集まる中、この機会にお気軽にご参加ください。
※一方的なセミナー形式ではなく、テーブルを囲んで参加者の相談内容、質疑に対して双方向で行う進行形式ですが、お気軽にご参加ください。

■先生の略歴、職歴、指針

2013年ウォータールー大学大学院博士課程修了 地理学博士
2009年～2013年 MSC（海洋管理協議会）漁業認証担当マネージャー
2013年～2016年6月 総合地球環境学研究所 研究員
2016年7月～宮崎大学 産学・地域連携センター講師（現職）

■日時 1月31日（火）

16:30-18:30 ※終了後懇親会も予定

■会場：宮崎大学まちなかキャンパス

宮崎市橘通3丁目4番36号 村武ビル1階
若草通りアーケード内 新規オープン！

懇親会は近隣の別会場※事前か当日、会場・予算をご連絡いたします

■定員 20名（事前申込みが必要です）

※どなたでも参加可能です

■参加費 無料

※申し込みは、氏名・会社名・連絡先（電話・FAX・メール）を FAXまたはメールで 1月25日（水曜）までに下記へ

■お問い合わせ先

宮崎大学産学・地域連携センター（担当：西片）

TEL：0985-58-7946 FAX：0985-58-7793

E-mail：miya-miya@of.miyazaki-u.ac.jp

研究内容／取組内容

大学院生～実務～現在に至るまで、違った立場から国際資源管理認証制度に関わってきましたが、実際に漁業や養殖業を行う生産者にとっての認証取得のメリットと課題は、これまであまり話題にされてきませんでした。昨年3月に出版した『国際資源管理認証 - エコラベルがつながるグローバルとローカル』（東京大学出版会）では、水産物、木材、ヤシ油等の国際的に取引される資源に対する認証制度の活用を生産者の視点から議論しています。



研究分野（テーマ）

- ・水産資源管理に係る国際認証制度（MSC, ASC等）の生産者による活用
- ・ローカル認証（地域を限定して適用される環境保全を含む認証制度）の構築・運営
- ・「食と地域」からとらえた共有価値の創造（Creating Shared Value: CSV）

参加される皆様へ

『ラウンドテーブル』では、現在水産業界でその活用が進む水産物の持続可能な証明としての、「国際資源管理認証制度」を中心にお話します。2020年のオリンピック・パラリンピックでもその活用が検討されている認証制度についての情報交換の場としたいと考えています。

お申込み書

所属名	●相談内容（取り組みたい・解決されたい事項） ----- ----- □具体的な相談事項はないが、参加したい ※会終了後の懇親会（会場近隣・参加費 3000 円以内） □参加 □不参加 個別相談や参加者同士の情報交換の場としてご活用ください。
氏名 役職／部署	
TEL	
FAX	
E-mail	